

単元名	地域を笑顔に！スマイルプロジェクト（第5学年）		
内 容	B 地域の創生（オ）	総時間数	35
目 標	地域の食品を取り扱う店舗と連携し、その店舗の魅力などを紹介する活動を通して、企画を具現化し、発信するために必要な知識・技能を身に付けるとともに、様々な人からの評価等を整理・分析し、試行錯誤して、企画の資料作成や提案・実践の準備等を行い、相手意識に立って発信したり、アイデアを出し合い、協働しながら粘り強く取り組んだりすることができるようにする。		
指導計画の概要			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学年での地域の学習、1学期の総合的な学習の時間で学習したSDGsの「12つくる責任、つかう責任」について振り返る。 新たな問いを見だし、課題を設定する。 この町にお店があることを知り、お店の人の思いや願いを聞く。 校内の児童に実施する「お店のことを知っているか」のアンケートについて、質問の内容を考える。 校内の児童に、「お店のことを知っているか」のアンケートをとる。 アンケート結果についてまとめる。 お店の課題を整理し、自分たちにできることを考える。 		<ul style="list-style-type: none"> 教科書 HP お店の方 Google フォーム
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> お店のためにできることの見通しをもち、各チームで計画を話し合い、企画提案プレゼンテーションを作る。 外部講師を招き、プレゼンテーションの仕方について学ぶ。 お店の方に企画提案プレゼンテーションを行い、フィードバックを受ける。 フィードバックをもとに、プレゼンテーションの修正をする。 		<ul style="list-style-type: none"> 富士通 学校運営協議会 お店の方
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> 各チームで、計画をもとに試作品をつくる。 学年で中間報告会を行う。 魅力を発信する活動の仕上げをして完成する。 『道塚万博』を開催し、お店の魅力を発信する。 来場していただいた方に、アンケートをとる。 考えたものをお店に置いてもらう。 お店の方から最終のフィードバックを受ける。 学習活動を振り返る。 		<ul style="list-style-type: none"> お店の方 地域の方 Google スライド Google フォーム
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数			
教科等名	本単元で補完する内容		授業時数
国語	<ul style="list-style-type: none"> 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 		8
社会	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の情報の生かし方について学習問題をつくり、学習計画を立て、解決の見通しをもつこと。 情報活用のあり方について考え、適切に表現すること。 		6
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> 五大栄養素を知り食品に含まれる栄養素の体内での主な働きが分かり、食品のグループ分けと栄養バランスの良い食事の仕方を理解すること。 調理計画や調理の仕方について問題を見だして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現すること。 		3
図工	<ul style="list-style-type: none"> 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどを感じ、用途などを考えながら、どのように主題に表すかについて考えること。 		3
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。 		15